OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	臨床哲学のメチエ 第7号 表紙・目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2000, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21785
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

臨床哲学のメチエ

臨床の知のネットワークのために

Vol.7 2000秋冬合併号

特集1　ソクラティク・ダイアローグ　in ヨーロッパ

ソクラティク・ダイアローグ　森芳周訳　4

「拝啓、ソクラテス者のみなさま」　寺田俊郎　20

特集2　ソクラティク・ダイアローグの「臨床哲学的展開」

共同的思考の産物と効果――神戸市看護大学でのワークショップから　堀江　剛　24

「責任とは、他人の突然の出現である。」――あるダイアローグの記録　31

「言葉」を行うこと　大北全俊　52

《資料》ダイアローグを営むためのいくつかの決めごと　54

街角の哲学――臨床哲学カフェ＆バー報告　桑原英之　56

臨床哲学の余白　58

表紙デザイン　高橋　綾

総特集　ソクラティク・ダイアローグ

99年、私たち臨床哲学研究室のメンバーは、イギリスで開かれた「ソクラティク・ダイアローグ」のワークショップに初めて参加し、その面白さを身をもって味わうとともに、それをヨーロッパの様々な場所・機会で精力的に展開している人たちに大いに触発された。2000年夏にドイツで開催された第３回ソクラティク・ダイアローグ国際学会では、このグループ討議の方法を組織的に実施・探求している団体を中心に、ソクラティク・ダイアローグに関わる様々な人々と知り合い、多くの情報を入手することができた。

今回のメチエはページを大幅に増やし、このソクラティク・ダイアローグに関する情報をまとめて紹介する。

特集１では、ヨーロッパにおけるソクラティク・ダイアローグの活動に関する資料や報告を行う。特集２では、私たち臨床哲学研究室が試みているソクラティク・ダイアローグの模様を紹介するとともに、それに対する若干の考察を加えることにする。